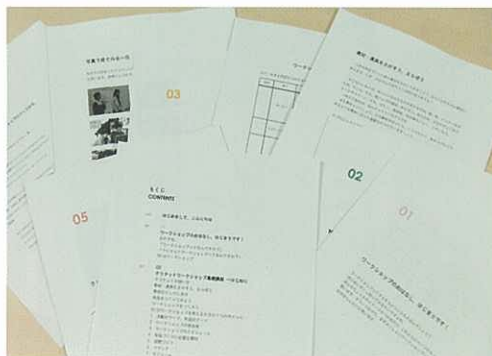




DOSHISHA ROHM PLAZA AWARD 2007

2007年度 同志社ローム記念館 大賞

「Playful Intelligence」(誘致プロジェクト)



#### ■活動概要

CSKグループが社会貢献活動として取り組んでいる「CAMP」と連動し、新しい学びの場である「ワークショップ」のデザイン、実践によって産学連携での社会、地域への貢献活動の新しいモデルづくりを目指して活動を行いました。小型コンピュータ「クリケット」を使ったワークショップの開発に取り組み、「90分ワークショップ」の型を完成させ、様々な場所で様々な年齢層の方を対象としたワークショップを開催することができるようになりました。

#### ●参加企業・団体

株式会社 CSKホールディングス 担当: 森 秀樹氏

#### ●プロジェクトリーダー

元原 麻理 (同志社女子大学現代社会学部)

#### ●プロジェクト責任者

有賀 妙子 (同志社女子大学学芸学部教授)

#### ●メンバー数 7名

#### 授賞理由

今年度の活動だけでなく、3年間の活動を通して得たものとメンバーの成長がよくわかるプレゼンテーションでした。表現の仕方も個性豊かで、他のプロジェクトにもよい刺激を与えるものとなりました。

ワークショップを繰り返し行い、試行錯誤の中から「90分ワークショップ」というひとつの型を創造していく過程がよくわかりました。ワークショップの活動時間を90分にしたことにより、小学生から大人まで幅広い年代の参加者へのアレンジが可能となりました。また、より多くのワークショップ実施が可能になり、ワークショップの楽しさをより多くの人たちに体験してもらうことができたと思います。

さらにワークショップをパッケージ化し、より多くの方々に実施していただける型にまで洗練されたことは、大変

すばらしいことです。これによって、プロジェクトの活動が受け継がれていくことにもなると思われま。3年間蓄積されてきたノウハウと成果がしっかり後輩へも継承され、今後も発展していくことを期待しています。

また、ワークショップの実践を通じて、多くの人と接することができ、参加メンバーの大きな成長にもつながったことが感じられました。自分たちの活動、自分たちが生み出したものが、さまざまな人びとの学びや発見につながっていくことを体感できたことは大変貴重な経験になったことと思います。今後、各方面での個々の活動に活かし、活躍されることを期待します。「社会性」「成果」「人材育成」いずれの点からも高い評価のできるプロジェクトに成長されました。3年間の努力が大きな実を結びました。



## DOSHISHA ROHM PLAZA AWARD 2007

## 2007年度 同志社ローム記念館 優秀賞

## 「Webとケータイによる京都観光コースガイド」(誘致プロジェクト)



## ■活動概要

国際観光都市「京都」を対象に、さまざまな観光情報を取材・収集、さまざまな人に適した観光コースを提供するガイドサービスをつくり、Webや携帯電話を通じて提供することを目指して活動を進めました。車いすの方が京都観光をする際に必要な情報を提供するホームページサイトの作成にテーマを絞り、Webサイト「みやこーす」を完成させました。「みやこーす」には4種類のコース「清水コース」「金閣コース」「二条城コース」「銀閣コース」があり、それぞれ車いすの方が観光をするに適したコース情報を掲載しています。

## ●参加企業・団体

NEC 担当:大賀 暁氏

## ●プロジェクトリーダー

山尾 晃司 (同志社大学経済学部)

## ●プロジェクト責任者

金田 重郎 (同志社大学工学部教授)

## ●メンバー数 11名

## 授賞理由

「京都」の観光コースを企画し、Webや携帯電話を介して情報提供するガイドサービスの完成という当初の大きなテーマの中から、ターゲットユーザーを絞り、「車いす利用者が京都を観光する」ための4つのコースを作成し、Web公開を達成されたことは、大きな成果です。

コンテンツ制作にあたり、実際に車いすを使用して観光を体験したり、車いす利用者の方との意見交換・協同作業など、ユーザーの視点や気持ちを理解しようと努力されたことがコース設計にもよく表れていました。ユーザーが何を求めているかを探求し、システムを開発する姿勢

は素晴らしいと思います。今後も、相手をより深く理解しようとする気持ちを忘れず、さまざまな活動に取り組んでいってください。

また、プロジェクトの実施体制にも工夫がありました。特に、チームの力がうまく発揮できる運営体制は、今後の学生生活や実社会においてプロジェクト運営の手本となると思われます。ぜひ、このプロジェクトで得た経験を、これからの活動に活かしていってください。活躍を期待しています。



## DOSHISHA ROHM PLAZA AWARD 2007

### 2007年度 同志社ローム記念館 特別賞

#### 「京田辺市PRメディア制作プロジェクト」(誘致プロジェクト)



#### ■活動概要

京田辺市の市制10周年を記念して京田辺市のPRメディア(映像)制作を目指して活動しました。

京田辺市の自然、風物、産業、生活、歴史などを紹介するため、4種類の映像コンテンツ「行政版」「子ども版」「英語版」「学生版」を作成。行政版は京田辺市市制10周年記念式典の際にも放映されました。それぞれのコンテンツは京田辺市内の施設へ配布され、活用される予定です。

- 
- 参加企業・団体  
京田辺市役所 担当:林 敢太氏

---

  - プロジェクトリーダー  
森野 憲茂(同志社大学文化情報学部)

---

  - プロジェクト責任者  
阪田 真己子(同志社大学文化情報学部准教授)

---

  - メンバー数 13名
- 

#### 授賞理由

京田辺市をPRするためのメディアコンテンツ制作を目指して活動し、目標どおり4つのコンテンツ「京田辺市行政版」「学生オリジナルバージョン」「英語版」「子ども向け用アニメ版」を制作されたことは大きな成果です。それぞれのコンテンツについて、ナレーションや映像の中に、異なるユーザーの視点を意識した工夫がなされていたことは評価できます。

また、メンバーが協力し合い、当初の計画どおり着実に

活動が進められ、計画力・行動力のあるプロジェクトであったことがうかがえました。このプロジェクトでの経験や、活動の中で得たものは、メンバー自身の貴重な財産として、今後もさまざまな活動に活かしてください。

プロジェクト期間は終了しますが、残りの映像を加え、編集を工夫して、より良いコンテンツを完成させ、京田辺市の広報の一助としてさまざまな機会に活用されることを楽しみにしています。



DOSHISHA ROHM PLAZA AWARD 2007

2007年度 同志社ローム記念館 特別賞

「みなメールプロジェクト」(誘致プロジェクト)



### ■活動概要

タブレットPCを活用した高齢者向け手書きメールソフト「吟メール」と、2006年度に開発した幼児向け手書きメールソフト「おちゃメール」の社会化および新たな手書きメールソフトの開発と利用者拡大を目指して活動を進めました。2006年度に開発した「みなメール」のWEBサイトを「誰でも見ることができる」「情報をわかりやすく伝える」ことに重点を置き、改良を行うとともに、タブレットPCを活用した知的障がい者向け福祉メールソフト「ふくメール」と、日本の文化を学ぶことができる教養メールソフト「たからメール」を開発しました。

### ●参加企業・団体

マイクロソフト株式会社 担当:西嶋 美保子氏  
日本油脂株式会社 担当:足田 真也氏

### ●プロジェクト責任者

和氣 早苗 (同志社女子大学学芸学部准教授)

### ●メンバー数

12名

### 授賞理由

昨年度の「おちゃメール」「吟メール」の開発や運用の経験から、知的障がい者用ソフト「ふくメール」と日本文化教養メールソフト「たからメール」を新たに開発されたことにより、より幅広い方々に対してタブレットPCの特性を活かしたメールソフトを提供できるようになりました。

プロトタイプを改良してゆく具体的な開発プロセスで、ユーザーテストを繰り返し行い、ユーザーの特性を理解することや、ユーザー視点に立つことの大切さがよくわかったことと思います。また、Webサイトの作成にあたっては、ユーザビリティを重視して制作にあたられたことは高く評

価できます。今後も、常にユーザーを意識し、ユーザーが必要としているものは何であるかをユーザーの視点で考え、開発に取り組んでいってください。

また、ターゲットとするユーザーへのテストだけでなくとどまらず、開発されたソフトウェアがより多くの方々に利用される仕組みづくりを行い、広くさまざまな角度からの評価も受けることができれば、より良い成果へとつながることと思います。

プロジェクトで得たものを、これからの学生生活、社会人としての仕事へと活かしてください。